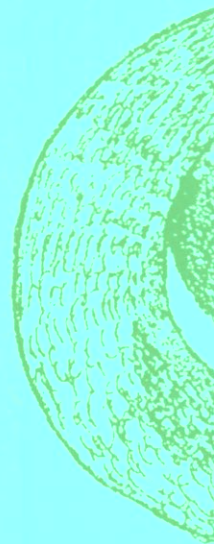


サラダの会朗読グループによる

私たちの夏 この子

2011



上) **アルスホール**

2011年

8月6日 (二)

場無料
育あり

つくば市立中央図書館 2F
(茨城県つくば市吾妻2-8)

開場 13:30 入
開演 14:00 保

サラダの会朗読グループ

(029-887-3226 大曾根)
(029-877-2275 浦里)

主催：サラダ

お問合せ

つくば市教育委員会

土浦市教育委員会

後援：つく

土浦

2011年3月11日、千年に一度の大震災に見舞われた日本。そして福島原発の事故。この大きな災害は家族の絆を突然断ち切り、また、原子力災害という目に見えない恐怖を与えています。

今、みんなが一番大切なものは何か、見つめなおしています。

この災害を記録ではなく、記憶にとどめてほしいと思います。

今年もサラダの会では命と平和の大切さを願い母と子の思いを語り継いでいきます。

8月6日「この子たち」がかえってきます。

—ギターとフルート、オカリナの生演奏と共に上演いたします。—

げんぱく

小学三年 田川よります

サイレンがなった。

おばあちゃんが「よかった、かいじょよ」

と ぼくをひぎの上におろした。

ぐううんーと

あたまの上でひこうきの音、

とたんぴかりごくんと家がゆれた。

ひっしにとりついた時はまっくらだ。

たすけての声、

あとにはわからない。

ほんとにこわかった。

きのこぐもがぐわぐわと まいあがる。

あの雲はわすられない。

「原子雲の下より」



2010・8 —アンケートより—

朗読を聴くうちに、当時の惨状・子どもたちの辛さ・母の悔いに胸がつまりました。隣国である中国・北朝鮮が核兵器を保有し、一方で日本に核兵器を使用した国であるアメリカの大統領が核兵器の削減とその責任を表明した。この特別な年に、この劇で現実の核爆発の下で起きたありのままを知る事ができ、感謝しています。

事実を知ることから始めることが大切だとかみしめています。

(つくば市 48歳)

親である自分自身もヒロシマやナガサキでの様子を知りませんでした。でも子供たちにはこういう事実があったことを知ってほしいと思い、今日伺いました。生きていられることへの感謝の気持ちを強く感じました。(つくば市 42歳)



会場までのアクセス



電車で… TXつくば駅下車 A2出口 徒歩3分
バスで… つくばセンター下車 階段上り遊歩道3分
車で… お近くの有料駐車場にどうぞ 1時間220円